



現在位置：人民網日本語版>>五輪>>ボランティア

更新時間：17:28 Aug 11 2008

五輪開幕式 演目に参加した女子学生たちの秘話



8月8日夜8時、第29回夏季オリンピック大会の開幕式が国家体育場（鳥の巣）で盛大に行われた様子。開幕式の一環である大型の文芸演目「美しいオリンピック」。

北京五輪開幕式（8日夜）、白い服を身にまとった2008人の少女達が傘を手に、地球の周りに集まり、そして傘を開く…、その傘に描かれた、世界中の子供の笑顔が観客の前に現れる…、そんな暖かい気持ちを引き起こさせる情景が、世界中の観客の前で演出された。9日、北京第二中学において、この演目に参加した55人の女子学生に話を聞いた。この度の五輪開幕式の演目に参加した唯一の中・高校生チームの一員である彼女らは、長く苦しい練習を積み、全世界の拍手を浴びることができたのだ。京華時報が伝えた。

この55人の女子学生達は、北京第二中学およびその分校の中学1年生から高校3年生までと様々だ。今年4月から、清華大学でその集団練習が始まったが、平日は授業があるため、彼女らの練習時間は基本的に週末に行われた。集団練習の多くが、朝7時から夜9、10時ごろまで続いた。

傘を開き、閉じる、という簡単な動作だが、全員、毎日100回以上の自主練習が課された。演目に参加した董萌萌さん（高2）は、「基本的に毎回、太陽の下で集団練習を行いました。練習でダメになった傘は、誰もが3本くらいあるでしょう。集団練習が終わり家に帰ると、多くが、足が痛くて動けない状態でした。でも、どんなに辛くても、一人として、演目の参加を放棄する者はいませんでした」と述べている。

開幕式の夜、彼女たちは、満面の笑顔をたたえ、優美な動作で、全世界の子供のスマイルが描かれた傘を広げた時、会場からの拍手は轟くように響いた。2日経った今でも、彼女らは、あの夜の情景を思い浮かべると、胸が高まる思いを抑えきれない。肖沐晨さんは、「中国代表団が入場してくるのを見たとき、今までの練習の辛さや疲れが吹き飛ばす思いでした。五輪開幕式の演出に参加できたことは、私たちの一生の思い出になることでしょう」と述べている。（編集WM）

「人民網日本語版」2008年8月11日

関連記事

印刷版

ホーム

注目ポイント



胡錦濤総書記 人民日報社を視察



北京のグルメ情報

- ★中日経済情報週刊（第4号）
- ★【私の目に映った北京五輪】いよいよ五輪目前 チケットを入手！
- ★【一週刊】五輪向けホームステイ家庭「奧運人家」観光客に人気
- ★【中国通】中国の世界遺産——峨眉山と楽山の大仏
- ★【東京視点】「私が見た長野聖火リレー」
- ★【日本人ボランティア】「絆を深めた千羽の折鶴たち」
- ★第三回中国人の日本語作文コンクール特集
- ★日中友好中国大学生日本語科卒業論文コンクール

[V] 動画



北京五輪、日本は過去最大規模の選手団を派遣

地方情報

北京	天津	上海	重慶	吉林	遼寧
河北	山西	山東	河南	江蘇	浙江
安徽	福建	江西	湖北	湖南	広東
広西	海南	四川	貴州	雲南	西藏
陝西	甘肅	青海	寧夏	新疆	香港
澳門	台湾	黒竜江	内モンゴ		

中国語版

日本語版

英語版

ロシア語版

フランス語版

スペイン語版

アラビア語版

共産党ニュース

広告 リンク集 about us サイトマップ 著作権

このウェブサイトの著作権は人民日報社にあります。

掲載された記事、写真の無断転載を禁じます。

Tel:日本 (03) 3449-8256 北京 (010) 5820-3719 MAIL:info@peopledaily.co.jp